



「立志」の心に学ぶ

1/23 に2年生が「立志式」を行いました。立志とは、「志を立てること。将来の目的を定めて、これを成し遂げようとする事」です。立志式は、日本古来の成人式でもある「元服の儀」にちなんだもので、15歳になる年の立春に行われている行事です。あと1年で自分の道を選択していくことを見据え、将来の決意や目標などを明らかにし、大人になる自覚を深めたり、誓いを立てたりする機会としています。



最後に全員がステージに立ち、Nコン課題曲にもなった miwa の「結」を合唱しました。

歌詞に込められた「仲間と一緒に時間を共有して大きな夢に向かってチャレンジすることの素晴らしさ」を力強く表現しました。

「啓発録」 橋本佐内

立志式に際し、幕末に活躍した橋本佐内が、15歳で著した「啓発録」を紹介します。

「自分に足りないものは何か、弱点は何か、そのためにはどう改善したら良いか」と考えながら、自己の存在を客観的に分析した人物で、啓発録には大人として生きていくに当たっての5つの決意が述べられています。



出典:国立国会図書館
「近代日本人の肖像」

これは「自分に対する戒めとして記す」とあり「あえて人に示すものにあらず」とも述べているところに価値があります。佐内が自分に課した戒めは、立志の節目だけでなく、生涯にわたって人間的な成長を遂げていくために、いつも心がけていくべきものではないでしょうか。

- 一 **去稚心**きょちしん (稚心を去る)
親に甘える幼い子供のような心を捨て去ること
- 二 **振気**しんき (気を振う)
人に負けないという気持ちをもって心を奮い立たせること
- 三 **立志**りっし (志を立てる)
自分が進んでいく道に向けて、心を定めること
- 四 **勉学**べんがく (学に勉める)
立派な先人の後ろ姿に学んで、勉め励むこと
- 五 **択交友**たっこうゆう (交友を択ぶ)
お互い高め合うことができる真の友人を見出すこと

1/31 立志スキー教室

2年生がエーデルワイススキー場にてスキー教室を実施しました。初めてでも緩斜面での滑走をマスターし、思い思いのシュプールを描いていました。



1/17 6年生の中学校訪問

本校に入学予定の小学校6年生が来校しました。生徒会による学校紹介、校内をまわりながら授業見学、部活動見学などをしました。



6年生は、今日の体験で中学校生活への期待が高まったようです。新しい仲間との生活が今から楽しみです。



保護者・地域の方の ご協力に感謝します

♡学校見守りたい (12月～2月末)

保護者の皆様等、より多くの目で生徒たちの見守りにより、目に見えて生活面での改善を図ることができました。引き続き、安心・安全な学校づくりを進めてまいります。

♡家庭科ミシンボランティア (1・2月)

1年生の家庭科において、地域協議会を通して「ミシンボランティア」10名の応援をいただきながら、エプロンづくりに取り組みました。



♡読み聞かせ (2月, 昼休み・図書館)

ALTによる英語本読み聞かせに続き、保護者による読み聞かせが始まります。

♡職業人に学ぶ講話会 (1/28) 右欄に詳細

1/28 職業人に学ぶ講話会

1年生は、実際に社会で働いている11人の職業人から話を聞きました。生徒はたくさん質問しながら、働くことの意義について考えました。



今回ご協力いただいた方々

- ・プロサッカー (栃木サッカークラブ)
- ・新聞記者 (下野新聞)
- ・理美容関係 (総美有限会社)
- ・航空機製造 (スバル航空宇宙カンパニー)
- ・動物飼育員 (宇都宮動物園)
- ・パティシエ (RESUTORANN chihiro)
- ・システムエンジニア (スキット)
- ・看護師 (国立病院機構栃木医療センター)

お忙しい中、本校生に夢を与えていただきありがとうございました。

3年生、 今という瞬間を大切に

卒業式まで1か月を切りました。

「中学校生活が名残惜しい」「今の仲間との時間を大切にしたい」といった思いが3年フロアに充満し、しっとりとした雰囲気です。仲間と過ごす残り少ない日々を大切にしましょう。

